

農業ひろさき



2021年3月1日 (第181号)
(令和3年3月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



第15回 農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会

1月20日、市農業委員会主催の第15回農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会が市りんご公園で開催され、農業後継者がせん定の技術と知識を競い合いました。

この講習会兼競技会は、せん定の技術の向上と参加者同士の交流を目的として毎年開催しているもので、今年は市内の若手生産者3組(3人1組)と個人6人の15人が参加しました。

競技会に先立ち行われた青森県りんご協会の成田淳逸特別講師による模範せん定講習会では、「りんごの樹勢や花芽の状況を見極め、次の年にりんごを実らせる枝を考えながら切る」などのアドバイスを聞き、参加者は真剣にせん定技術を学んでいました。

競技会は、団体の部と個人の部で行われ、参加者それぞれに割り当てられた一本の樹をせん定する実技試験とりんごに関する知識を問う筆記試験を行い、総合評価での団体の部優勝には十腰内青年部が、個人の部では長内潤也さん(十腰内青年部)が優勝の栄冠を勝ち取りました。



せん定技術を指導する
成田講師(中央)



筆記試験に挑む参加者



閉会式終了後に参加者みんなで

..... 競技会の結果は次のとおりです(敬称略)

◆弘前市長賞(優勝した団体と個人)

弘前市農業委員会会長賞(優勝~第3位の団体と個人)

◎団体の部 優勝...十腰内青年部

準優勝...相馬農業青年の会A

第3位...相馬農業青年の会B

◎個人の部 優勝...長内潤也(十腰内青年部)

準優勝...對馬康大朗(個人参加)

第3位...川嶋あやの(個人参加)



◆青森県りんご協会会長賞

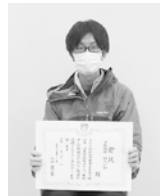
(実技で優勝した団体と個人)

◎団体の部 相馬農業青年の会A

◎個人の部 成田 廉

(相馬農業青年の会A)

個人
実技
の部
優勝
成田
廉



団体の部 第1位
十腰内青年部

井上 信、長内潤也、大湯千秋



団体の部 第2位
相馬農業青年の会A

溝江将也、成田 廉、林崎 樹



団体の部 第3位
相馬農業青年の会B

三浦勇基、長内拓弥、清野大輝



個人の部
優勝 長内潤也(中)
準優勝 對馬康大朗(左)
第3位 川嶋あやの(右)

「青色申告研修会」開催しました!

ひろさき農業総合支援協議会は、1月27日、農業者向けの青色申告研修会を開催しました。約50名の農業者が参加し、収入保険や青色申告を始めるポイントについての講義に熱心に耳を傾けていました。その後、簡易簿記の記帳や減価償却費の計算方法に関する演習を行い、農業機械を導入した時期による記帳方法の違いや、補助金を受給した場合の取り扱いなど、農業ならではの申告方法について活発な質疑応答が行われました。



『パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン』

弘前りんごの会(会長・櫻田宏市長)では、昨年10月から「パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン2020」を実施し、弘前産りんごの魅力を全国に発信しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市場やスーパーでのイベントが中止となるなか、東京・大阪・福岡など全国12エリア、700店舗以上のスーパーで弘前産りんごを販売する「アップルウィーク」を実施しました。

令和2年産りんごのおいしさを多くの消費者につたえるとともに、「りんごのまち 弘前」の知名度アップに繋げ、弘前産りんごの消費拡大に努めました。



キャンペーンガール りんご娘

農地転用、その前に・・・

農振除外申出4月30日締切り

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、『農用地区域』として設定しています。

この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地(倉庫、資材置き場など)といった耕作以外の目的に使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

農振除外の手続きは、6か月以上の期間を要します。また、4月30日を過ぎますと、次回分は8月2日が締め切りとなる予定です。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区の担当課窓口で行っています。

■問い合わせ先

【弘前地区】農政課地域経営係(市役所前川本館3階)

☎40-7102

【岩木地区】総務課農林係(岩木庁舎1階)

☎82-1621

【相馬地区】総務課農林係(相馬庁舎1階)

☎84-2111



近年続く異常気象に備えて【りんご共済】令和3年産予約加入申込み受付中!

加入プラン	総合短縮方式	特定危険方式(被害限定補償)
補償期間	4月発芽期から11月収穫期までの災害に対応(冬期間の災害を除く)	
対象となる災害	自然災害(水害含む)、鳥獣害など	風害、ひょう害、凍霜害
対象となる被害割合	畑ならし計算型(すべての畑での減収量で計算)は3割以上、畑ごと計算型(畑ごとの減収量で計算)は4割以上の被害から共済金が支払われます。	畑ならし計算型は2割以上、畑ごと計算型は3割以上の被害から共済金が支払われます。
農家負担額(ふじの場合)	畑ならし計算型は1箱およそ103円 畑ごと計算型は1箱およそ72円	畑ならし計算型は1箱およそ54円~85円 畑ごと計算型は1箱およそ41円~62円
補償額(ふじの場合)	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱2,730円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱2,340円	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱3,120円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱2,730円
※品種によって異なります。		

●農家負担額(賦課金を除く)の一部の助成を予定しています。●国が掛金の半分以上をあらかじめ負担!

●防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引!

★加入を検討している方や内容を詳しく知りたい方は、下記までお問い合わせください。

◆申込締切 令和3年3月25日(木) ■問い合わせ先 青森県農業共済組合ひろさき支所 果樹課 ☎28-5700

◆令和4年産から上記「特定危険方式(被害限定補償)」は廃止となります。ご注意ください。

◆また、青森県農業共済組合では、青色申告を行っている農家の皆様には、収入保険への加入もお勧めしております。

農業委員または農地利用最適化推進委員へ

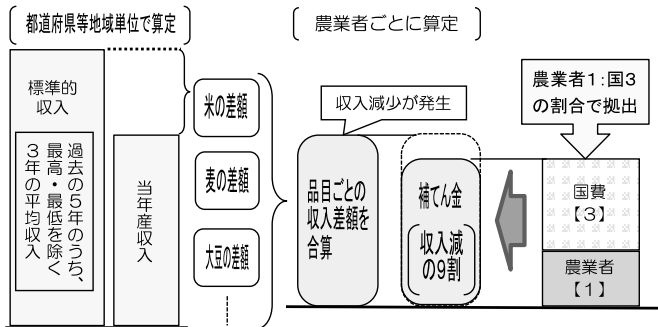
経営所得安定対策の概要について

「畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）」及び「収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）」の対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者となっており、いずれも面積規模は問いません。担い手の方が、幅広く参加できる制度となっています。

ゲタ・ナラシ対策に加入を希望される方で、認定農業者等となっていない方は、令和3年産の加入申請期限【令和3年6月末】までに、認定農業者や認定新規就農者となつていただく（いずれも5月までに手続きが必要）か、集落営農を組織または集落営農へ加入していただくことが必要ですので、お早めに準備をお願いします！（認定農業者の方は、更新手続きをお忘れなく）令和3年収入保険に加入された方は、ナラシ対策との重複加入はできませんのでご注意ください。

◎収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

- ◆交付対象者 認定農業者、集落営農、認定新規就農者を対象（面積規模は問いません）
- ◆交付対象品目 米（備蓄米含む）、麦、大豆
- ◆補てん額 当年産の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補てんします。

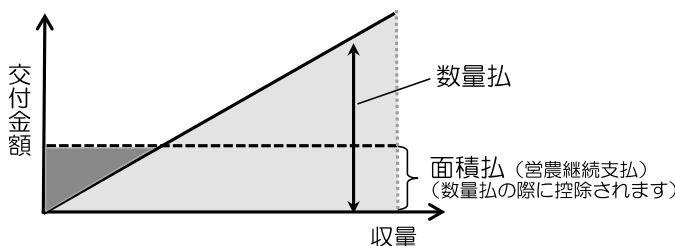


◎畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

- ◆交付対象者 認定農業者、集落営農、認定新規就農者（面積要件はありませんが、播種前契約書などに基づく生産が必要です）
- ◆交付対象品目 麦、大豆、そば、なたね

交付対象作物	交付単価
小麦	20,000円/10aの面積払い 品質に応じた数量払（平均交付単価6,710円/60kg）
大豆	20,000円/10aの面積払い 品質に応じた数量払（平均交付単価9,930円/60kg）
なたね	20,000円/10aの面積払い 品質に応じた数量払（平均交付単価13,170円/60kg）
そば	13,000円/10aの面積払い 品質に応じた数量払（平均交付単価8,000円/60kg）

- ※1 数量払を基本。面積払は、当年産の作付面積に基づき数量払いの先払いとして支払い（全国一律単価）
- ※2 面積払の交付対象農地は畑作物が作付けられた水田及び畑地。畑地は登記簿上の地目が「雑種地」等であっても対象。



◎水田活用の直接支払交付金

食料自給率・自給力の向上を図るため、飼料用米、麦、大豆など、戦略作物の本作化を進め、水田のフル活用を図ります。飼料用米の新たなメニューを追加しました。

交付対象作物	設定段階	交付単価（円/10a）
麦・大豆	国	35,000
収量向上メニュー取組	市	麦： 11,020
		大豆： 14,440
飼料用米・米粉用米	国	収量に応じ、55,000～105,000
複数年契約（3年以上）飼料用米 多収品種＋多肥栽培 【新】主食用品種＋新規・拡大分 【新】主食用品種＋単年 【新】複数年契約（3年以上）飼料用米＋生産性向上の取組	県	12,000
		9,000
		9,000
	市	5,850
【新】複数年契約（3年以上）飼料用米＋生産性向上の取組	市	5,000
WCS用稲	国	80,000
加工用米	国	20,000
そば・なたね	県	20,000
新市場開拓用米	県	20,000
		生産性向上の取組 9,000
	市	省力技術導入加算（50a以上） 21,600
		生産性向上の取組 9,500
枝豆、トマト、ミニトマト、ピーマン、にんにく	市	27,930
なす、アスパラガス、たまねぎ、きゅうり、とうがらし、セリ	市	18,900
高収益野菜（拡大分）注	県	45,000
		契約栽培による上乘せ助成 27,000

※県、市段階の単価については、目安であり、予算の配分や取組実績により変更となる場合があります。
注 高収益野菜（拡大分）の詳細は以下のとおりです。

対象作物（15品目）	にんにく、ごぼう、ながいも、だいこん、にんじん、ねぎ、えだまめ、かぼちゃ、キャベツ、ばれいしょ、アスパラガス、ブロッコリー、とうもろこし、こかぶ、たまねぎ
要件	・対象品目の合計面積が8a以上拡大 ・契約栽培に取組む場合はさらに上乘せ助成

■問い合わせ先

弘前市農業再生協議会事務局
（弘前市農林部農政課農産係内）
☎40-0504

「農地に関するご相談」は、お近くの

農業情報は、市のホームページからも!

市のホームページには、各種農業情報や新着情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

◆農業情報検索方法

弘前市ホームページ内の

「トップ」→「農業・商工業」→「農業情報」



令和3年農作業臨時雇用標準賃金を決めました

市農業委員会では、令和3年の農作業臨時雇用標準賃金について、下表のとおり決めました。

作業員の臨時雇用や農作業を委託する場合に、農業者の皆さんの目安にしてもらうため毎年設定しているもので、当事者間で賃金を取り決める際の参考としてご利用ください。

作業名		金額(円)	備考
雇用賃金	田植え	6,400	1日(8時間)当たり まかない抜き
	水稻防除	6,400	
	稲刈り	6,400	
	整枝せん定	9,700	
	人工授粉	6,400	
	摘花・摘果	6,400	
	袋かけ	6,400	
	除袋・葉とり・収穫	6,400	
	農作業一般	6,400	
オペレーター	トラクター	1,000	1時間当たり まかない抜き
	乗用田植機	1,000	
	コンバイン	1,200	
	スピードスプレヤー	1,000	
	水田耕起	5,000	
畑耕起	5,000		
荒かきのみ (または、代かきのみ)	4,600		
荒代かき	5,800		
田植機	苗なし	5,700	
	稚苗付き	19,300	
	中苗付き	26,000	
コンバイン	乾燥なし	16,100	
	乾燥まで	28,000	
ロールベアラー	3,200	1俵当たり(生脱穀)	
乾燥機	1,300		
スピードスプレヤー	5,500		1,000円、薬剤費別

(注)実労働時間は1日当たり8時間を標準とし、超過した場合は時間当たりで換算してください。

※参考 青森県最低賃金は、令和2年10月3日から時給793円に改定されました。

■問い合わせ先 農業委員会農政係(市役所前川本館3階) ☎40-7104

農地流動化情報

農業委員会では、農地の有効利用と遊休農地解消対策として、「農地を貸したい、売りたい」または「借りたい、買いたい」などの情報を提供しています。

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	1115	百沢字山田 59	畑	休耕	30.63a	交渉次第	貸借も可
	1117	兼平字石山添 174-59	畑	保全管理	15.34a	無償でも可	貸借も可
	1119	三和字下池神 133-1 他1筆	田	不耕作	1.28a	交渉次第	貸借も可
	1120	三和字下池神 237-1	田	不耕作	0.65a	交渉次第	貸借も可
	1121	三和字下池神 300 他1筆	田	不耕作	50.39a	交渉次第	貸借も可
	1122	三和字下池神 152-24	畑	不耕作	44.28a	交渉次第	貸借も可
貸したい	1114	大和沢字沢田 569	畑	休耕	3.42a	交渉次第	
	1116	大森字勝山 851-1 他1筆	樹園地	一部りんご	103.79a	無償でも可	

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。なお、市のホームページからも情報提供を行っています。

トップページ > 農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農地に関すること > 農地流動化情報



■取扱窓口及び問い合わせ先

- ①農業委員会農政係(市役所前川本館3階) ☎40-7104
- ②農業委員会岩木分室(岩木庁舎1階) ☎82-3111内線611
- ③農業委員会相馬分室(相馬庁舎1階) ☎84-2111内線805

全国農業新聞購読のご案内



全国農業新聞は、1週間の農政の動きや、現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝えることを目的に、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。ぜひ購読ください。

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 月額700円(税・送料込)
- ◆お支払 全国農業会議所による年2回(1月、7月) 4,200円の口座振替

【市ホームページ】

農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農業委員会について > 全国農業新聞の購読申込みは農業委員会まで

■購読申込み・問い合わせ先

地区の農業委員または農業委員会事務局農政係(市役所前川本館3階) ☎40-7104